

2026年度入学生対象

2026年4月1日現在

別記様式3

特 定 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部等名 [教育本部]

プログラムの名称	(和文) Global Peace Leadership Program ----- (英文) Global Peace Leadership Program
1. 概要 <p>現在、社会・文化・経済のグローバル化が急速に進展しており、今後更なる国際的な流動性が高まることが予想される。同時に、社会からは、そのような激しい変化に柔軟に対応でき、さらに文化が異なる他者との間で、自分の意見を述べ、かつ適切な意思疎通ができるグローバル人材の育成が強く求められている。このような背景のもと、本プログラムでは、「平和を希求する国際教養力を備えたグローバル人材」を育成するため、英語力、多文化社会での課題発見・解決能力、リーダーシップ力、キャリア形成力を徹底的に鍛えるとともに、日本文化や平和への理解を深めることにより世界の中で日本人としてのアイデンティティを確立することができるカリキュラムを提供する。また、本プログラムの修了要件として、海外留学を義務づけることで、これらの育成すべき能力を強化する。</p>	
2. 到達目標 <p>本プログラムは、「平和を希求する国際教養力を備えたグローバル人材」の育成を目的としており、具体的には、次の5分野での各能力の習得を目標とする。</p> <p>(1) 留学支援英語 グローバル化時代に対応するため、コミュニケーションツールである英語により、他者とディスカッションできる能力を養成するとともに、TOEIC(R)テストで800点レベルのスコアを取得できることを目標とする。</p> <p>(2) 平和科目 英語で開講される平和科目により、戦争・紛争、核廃絶、貧困、飢餓、人口増加、環境、教育、文化等の様々な観点から平和について考え、理解を深めることを目標とする。</p> <p>(3) 国際交流科目 被爆地ヒロシマの地域性を理解し、さらにチームワークやリーダーシップ、プレゼンテーション能力といったグローバル化社会で必要なるマインド・スキルを、フィールドワークを通じて習得する。 異なる文化や価値観をもつ他者との交流及び相互啓発により、新しい価値を生み出そうとする態度、異文化への寛容性、ダイバート能力を育成する。</p> <p>(4) 日本文化 日本文化を美術、芸術、工芸、建築、文学、歴史、宗教、思想等様々な視点から捉え、その基本的知識を身につけ、理解を深めることを目標とする。</p> <p>(5) グローバル・キャリア・デザイン インターンシップやボランティア活動など、企業或いは地域社会との交流や連携を通じて、グローバル人材に求められる課題発見解決力やチームワーク力を養成するとともに、自らのキャリア形成に対する意欲向上を目標とする。</p>	
3. 登録時期 <p>本プログラムの登録は、1年次第1タームで希望調査を行い、第2タームで登録者を確定する。なお、希望調査の具体的な方法・時期については、4月上旬に「Myもみじ」掲示版で確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none">・4月下旬～5月中旬：希望調査実施期間（申請時に800字程度で志望動機を記入すること。）・5月下旬～6月上旬：面接審査（日程は面接対象者に個別に連絡する。）	
4. 登録要件 <p>TOEIC(R)スコアで概ね600点、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていることを登録要件とする。 ※2026年度第1回全学一斉TOEIC(R)L&R IPテスト(試験監督が陪席する指定の場所でのオンライン受験)のスコアを用いる者は証明書類の提出は不要である。</p>	
5. 受入上限数 <p>20名程度とする。登録申請者数に関わらず、英語コミュニケーション能力（TOEIC(R)スコア等）、志望動機及び面接審査などを基に、プログラム担当教員会で登録者を決定する。なお、面接審査は、志望動機の評価基準を満たした者を対象とする。</p>	

6. 授業科目および授業内容

授業科目は、別紙の履修表を参照すること。授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

なお、授業及び期末試験を円滑にするため、受講者定員を超過した授業科目については、受講者抽選を行うことがある。

7. 修了要件

別紙の履修表に示す 14 単位を修得し、かつ各主専攻プログラムが推奨する海外留学等、プログラム担当教員会が認める海外留学に参加し、留学報告会で報告を行うこと。なお、法学部及び経済学部の夜間主コース所属の学生に限り、平和科目については履修表で示す科目のほか、プログラム登録前（1 年次第 1 ターム）に履修登録した授業科目を修了要件として認める。また、「2. 到達目標」にある TOEIC (R) 800 点に到達するため、毎年年 2 回実施される全学一斉 TOEIC(R) L&R IP テストを積極的に受験し、英語運用能力の測定に活用すること。（<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/toeicip.html>）

「留学支援英語」に関して、他の授業科目との時間割の重複等により履修が困難である場合、TOEIC®公開テスト又は広島大学が全学一斉実施する TOEIC®IP テストで 730 点以上（ただし対面受験又は試験監督が陪席する指定の場所でのオンライン受験のみ対象とする）、実用英語技能検定試験（英検）準 1 級以上、IELTS™ で 6.0 以上又は TOEFL®テスト（Internet-Based）で 83 点以上を取得していれば、次のとおり単位を認定する。その際は「特定プログラム」登録後のスコアや取得級（具体的には 1 年次 6 月以降に取得したもの）を用いることとし、評価は付さないこと（認定）とする。上記検定試験等による単位認定の申請期限は、卒業予定年度の 10 月末までとし、希望者は合格証等のコピーを添えて申し出ること。（この期限以後の単位認定申請は受理しない。）

認定授業科目		認定単位数
英語語彙運用スキルアップ I	英語聴解スキルアップ	左記授業科目のうち、いずれか 3 科目分として 3 単位
英語語彙運用スキルアップ II	英語口頭発表スキルアップ AI	
英語口頭表現スキルアップ AI	英語口頭発表スキルアップ AII	
英語口頭表現スキルアップ AII	英語文章表現スキルアップ BI	
英語読解スキルアップ	英語文章表現スキルアップ BII	
英語口頭表現スキルアップ BI	英語口頭発表スキルアップ BI	
英語口頭表現スキルアップ BII	英語口頭発表スキルアップ BII	
英語文章表現スキルアップ AI	英語文章表現スキルアップ CI	
英語文章表現スキルアップ AII	英語文章表現スキルアップ CII	

8. 留学要件

海外留学の参加条件は、以下のとおりとする。

- 留学支援英語：3 単位または「7. 修了要件」に記載の単位認定に必要な外国語技能検定試験等のスコアを取得していること。
- 平和科目：2 単位
- 国際交流科目：2 単位
- 日本文化群：2 単位
- 留学プログラムによっては上記の他に留学要件が課される場合がある。

※留学支援英語の「Advanced English for Communication」を履修することを要望する。

※留学にあたっては、留学支援英語を 8 単位程度修得することが望ましい。

9. 責任体制

副学長（全学共通教育担当）を本プログラムの責任者とした、Global Peace Leadership Program 担当教員会が計画・実施・評価にあたる。

10. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む）の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

分野	要修得単位数	授業科目	単位数	履修年次(開講期)	開設部局	
留学支援英語(※4)	4	Advanced English for Communication(※1)	1	1年次(1T、2T、3T、4T)	教養教育科目	
		英語運用能力強化科目群(※5)	英語語彙運用スキルアップI	1	2年次(1T)	外国語教育研究センター
			英語語彙運用スキルアップII	1	2年次(2T)	外国語教育研究センター
			英語口頭表現スキルアップAI	1	2年次(1T)	外国語教育研究センター
			英語口頭表現スキルアップAII	1	2年次(2T)	外国語教育研究センター
			英語読解スキルアップ(※8)	1	2年次(前期集中)	外国語教育研究センター
			英語口頭表現スキルアップBI	1	2年次(3T)	外国語教育研究センター
			英語口頭表現スキルアップBII	1	2年次(4T)	外国語教育研究センター
			英語文章表現スキルアップAI	1	2年次(3T)	外国語教育研究センター
			英語文章表現スキルアップAII	1	2年次(4T)	外国語教育研究センター
			英語聴解スキルアップ(※8)	1	2年次(後期集中)	外国語教育研究センター
			英語口頭発表スキルアップAI	1	3年次(1T)	外国語教育研究センター
			英語口頭発表スキルアップAII	1	3年次(2T)	外国語教育研究センター
			英語文章表現スキルアップB I	1	3年次(1T)	外国語教育研究センター
			英語文章表現スキルアップBII	1	3年次(2T)	外国語教育研究センター
			英語口頭発表スキルアップBI	1	3年次(3T)	外国語教育研究センター
			英語口頭発表スキルアップBII	1	3年次(4T)	外国語教育研究センター
英語文章表現スキルアップCI	1	3年次(3T)	外国語教育研究センター			
英語文章表現スキルアップCII	1	3年次(4T)	外国語教育研究センター			
平和科目	2	Visualization of War	2	1年次(2T)	教養教育科目	
		Atomic Bomb Survivors (Hibakusha) and World Peace	2	1年次(2T)	教養教育科目	
国際交流科目	2	観光地理学	2	1年次(3T)	教養教育科目	
		INU Special Intensive Course	2	1年次(前期集中)	教養教育科目	
		Regional Geography of Japan	2	1年次(4T)	教養教育科目	
		Contemporary Issues of Japan(※2)	2	1年次(1T)	教養教育科目	
		Learning Hiroshima: Intercultural Fieldwork (地域社会を学ぶ: 異文化間フィールドワーク)	2	1年次(前期集中)	教養教育科目	
		Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1	2年次(1T)	総合科学部	
		World Englishes (世界の英語)	1	2年次(2T)	総合科学部	
		Japanese Tourism I (日本の観光 I)	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
		Japanese Tourism II (日本の観光 II)	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
		Introduction to Education in Japan (A)(※6)(※8)	2	1年次(1T)	教育学部	
		Introduction to Education in Japan (B)(※6)	2	1年次(3T)	教育学部	
Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship	2	1年次(2T、3T)	森戸国際高等教育学院			
日本文化群	4	地理・考古・文化財の世界	2	1年次(2T)	教養教育科目	
		比較宗教学	2	1年次(3T)	教養教育科目	
		Japanese Religion A	2	1年次(4T)	教養教育科目	
		Japanese Religion B(※8)	2	1年次(4T)	教養教育科目	
		Introduction to Japanese Thought	2	1年次(3T)	教養教育科目	
		Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術)(※8)	1	2年次(未定)	総合科学部	
		Japanese Buddhism (日本の仏教)	1	2年次(4T)	総合科学部	
		Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論 I)(※8)	1	2年次(未定)	総合科学部国際共創学科	
		Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論 II)(※8)	1	2年次(未定)	総合科学部国際共創学科	
		Japanese Religious Culture I (日本宗教文化 I)	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
		Japanese Religious Culture II (日本宗教文化 II)	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
		歴史学入門A	2	1年次(3T)	文学部	
		日本・中国文学語学入門	2	1年次(3T)	文学部	
		地理学・考古学・文化財学入門C	2	1年次(2T)	文学部	
		地理学・考古学・文化財学入門B	2	1年次(4T)	文学部	
		日本語の語彙と意味	2	2年次(2T)	教育学部	
		社会言語学	2	2年次(2T)	教育学部	
		日本文学と文化	2	2年次(前期集中)	教育学部	
		日本美術史概説	2	2年次(2T)	教育学部	
		Cross Cultural Studies on Education(※6)	2	1年次(2T)	教育学部	
グローバル・キャリア・デザイン(※7)	2	地域社会探検プロジェクト-インターンシップ・ボランティアを体験してみよう-	2	1年次(後期集中)	教養教育科目	
		インターンシップ科目単位認定			各学部による	
海外留学	(0)	海外留学プログラム(※3)			各学部による	
合計	14					

※1 「Advanced English for Communication」の履修を要する。

※2 プログラム登録時期(1年次2T)より以前に開講される科目を示す。

※3 本プログラムの修了要件として、各主専攻プログラムが推奨する留学プログラム等、プログラム担当教員会が認める海外留学を義務づける。
 なお、「海外留学プログラム」による海外での修学が、本学の授業科目の単位として認定可能かどうかは、所属学部の学生支援室で留学前に確認すること。

※4 留学にあたっては、留学支援英語から8単位程度修得することが望ましい。

※5 英語運用能力強化科目群の各授業科目で修得できる能力は以下のとおりである。自分が強化したい能力を考慮し、授業科目の選択すること。
 ただし、各授業科目のシラバスで必ず詳細な内容を確認すること。

- ・英語語彙運用スキルアップ＝語彙力の増強
- ・英語口頭表現スキルアップ＝音声を使つてのやり取りする力
- ・英語文章表現スキルアップ＝文字を使つてのやり取りする力
- ・英語口頭発表スキルアップ＝プレゼンテーション演習
- ・英語読解スキルアップ＝英語リーディング力
- ・英語聴解スキルアップ＝英語リスニング力

なお、科目名に「I」「II」が付されている授業科目は連続して履修することを推奨する。特に、「II」は「I」の学習内容を踏まえて授業が展開されるので、「II」のみを履修する場合、最初の教回が活動や課題に慣れることが求められる。

※6 外国人留学生を対象とした「日本事情に関する科目」であるため、自学部の卒業要件単位に含まれるかどうかは自学部の学生支援室にて確認すること。
 なお、「Introduction to Education in Japan (A)」及び「Introduction to Education in Japan (B)」は重複して履修することはできない。

※7 「インターンシップ科目単位認定」は、各学部で実施されるインターンシップ単位認定制度に基づくものとする
 (ただし初年次インターンシップは除く)。インターンシップ単位認定制度の有無及び条件等は、自学部の学生支援室にて確認すること。

※8 2026年度は不開講の科目を示す。